

## JEMEA 活動報告

# JEMEA Sympo2023 開催報告

## The Report on JEMEA Sympo2023



東京電機大学工学部 望月 大

Tokyo Denki University, Dai Mochizuki

〒120-8551 東京都足立区千住旭町 5 番

e-mail: daim@mail.dendai.ac.jp

**開催までの経緯** 2022 年の理事会において、2023 年 10 月 25 日～27 日の 3 日間、福岡県北九州市での開催が決定されました。その後、当方を委員長とし、大内将吉先生(九工大)、岸本史直先生(東大)、羽石直人氏(櫛クレハ)を委員として実行委員会を立ち上げました。

前年度まで COVID-19 の状況によりオンライン開催であり、2023 年度の開催方法を模索するうえで、理事会メンバーにオンライン開催と現地開催のどちらを希望するかアンケートを取りました。その結果、多くの方から感染状況によるが、現地開催を希望する声がありました。この結果を考慮し、会場として北九州市の JR 小倉駅前の北九州国際会議場を予約しました。

**シンポジウムに関する報告** 参加者総数は、144 名(うち JEMEA 非会員 40 名 : 内訳 シンポジウム参加 137 名 ショートコースのみ参加 7 名)でありました。2018, 2019 年の 169, 175 名には届かないものの、過去 3 年間のオンライン開催の参加者数(平均 107 名)と比べ、増加しました。JEMEA 会員の皆様は、ほぼ 2019 年と同数となっております。4 年ぶりの現地開催となり、皆様に顔を合わせて、情報共有できたのではないかと考えております。一方で、非会員の参加者は、2018, 2019 年では 70 名程度あったのに対し、およそ 40 名と大幅に減少しております。北九州市での開催でもあり、会員の皆様の周囲の方への声掛けが難しかったためと推察しております。

講演数は、一般口頭講演は 48 件、ポスター発表は 21 件でありました。こちらも 2019 年とほぼ同様の数値となっています。今回、企業発表が少なくなっていました。当方から企業への声掛けが届かず、当方の力不足で、期待に応えられず申し訳ございません。

26 日 PM には R024-JEMEA 特別講演が行われ、海外からお招きした講師 2 名にご講演をいただきました。

“Microwave Heating in Heterogeneous Catalysis”

○Daniel R Slocombe (Cardiff University, United Kingdom)

“Microwave-Driven chemical engineering technology-full of breakthrough opportunities in electrified chemical processes”

○Xin Gao, Zhenyu Zhao, Kai Liu, Hong Li ( Tianjin University (天津大学) )

本講演につきましては、日本学術振興会 R024 電磁波励起反応場委員会のご協力で実現できましたことを感謝申し上げます。

**各賞授賞** 研究奨励賞は 1B13(石橋ら)、ベストプレゼンテーション賞は、1A02(田宮ら)および 2B01(横山ら)に決定しました。受賞者は各賞の総得票でも高評価を得ていたことから、より公平かつ妥当な採点結果でした。また、ベストポスター賞は P18(川嶋ら)に決定しました。受賞研究以外にも、新規性や懸案事項への取り組みなど高評価の研究成果が多く、今後の研究の発展が期待できます。

**開催御礼** 本シンポジウムの開催に当たり、機器展示及び要旨集への広告出稿でご協力いただいた企業、広報にご協力頂いた協賛団体に御礼申し上げます。ことに【共催】をいただいた北九州市/九州工業大学関係者の皆様【協賛】をいただきました（公財）北九州観光コンベンション協会様のご支援をいただくことでこのシンポジウムが開催できたことをご報告させていただきます。また、JEMEA 事務局佐藤様には、各団体や特別講師との打ち合わせ、要旨集の取りまとめ、アンケートや賞の HP 作成、リハーサルや当日の関連業務など、委員会立ち上げ時からシンポジウム終了後の会計集計作業まで非常に多くの業務を滞りなく進めていただきましたことを感謝いたします。

最後に、大会を大いに盛り上げて頂きました参加者すべての方に重ねて心より御礼を申し上げます。久々のシンポジウムの現地運営にあたり、不届きな点もあったかと思いますが、何卒次年度以降も参加していただけることをお願い申し上げます。